

《資料編》

1 計画策定の経緯等について

(1) 真室川町地域福祉計画推進委員会設置運営規程

平成 20 年 11 月 4 日

規程第 4 号

(設置)

第 1 条 真室川町が策定・実施する地域福祉計画等の福祉及び健康づくりに係る各種計画(以下

「地域福祉計画等」という。)に、地域住民並びに関係団体、学識経験者の意見を反映し、事業を推進するため、真室川町地域福祉計画推進委員会(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(所掌業務)

第 2 条 推進委員会は、次に掲げる事項について、検討・協議する。

- (1) 地域福祉計画等の策定及び見直しに関すること。
- (2) 地域福祉計画等の進行状況の確認及び推進の方策の検討に関すること。
- (3) その他計画の推進に必要な事項に関すること。

2 推進委員会が所管する計画は、次のとおりとする。

- (1) 真室川町地域福祉計画
- (2) 真室川町老人保健福祉計画
- (3) 真室川町介護保険事業計画
- (4) 真室川町障がい者計画
- (5) 真室川町障がい福祉計画
- (6) ヘルシースマイル真室川 21 計画
- (7) その他真室川町が策定する福祉及び保健に関する計画

(委嘱)

第 3 条 委員は、次に掲げる者から町長が委嘱する。

- (1) 次に掲げる者で、公募に応じた者
 - ア 町内に居住する者
 - イ 町内の事務所又は事業所に勤務する者
- (2) 社会福祉活動を行う団体が推薦する者
- (3) 社会福祉事業を経営する団体が推薦する者
- (4) 学識経験者
- (5) 行政関係団体が推薦する者
- (6) その他町長が特別に指名する者

(任期)

第 4 条 委員の任期は、3 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の任期は前任者の残任期間とする。

2 委員は再任されることができる。

(部会)

第5条 推進委員会に次の部会を置く。

- (1) 地域福祉推進部会
- (2) 介護・老人福祉部会(地域包括支援センター運営協議会を兼ねる。)
- (3) 障がい福祉部会
- (4) 健康づくり推進部会

2 各部会に部長を置き、当該部会の委員の互選によりこれを定める。

3 部長は部会を代表し、会務を総理し、会議の議長を務める。

4 地域福祉推進部会は、各部会を総括し、部会委員の他に各部会の部長が加わるものとする。

(委員長等)

第6条 推進委員会の委員長は、地域福祉推進部長をもって充てる。

2 委員長若しくは部長(以下「委員長等」という。)に事故があるとき、又は委員長等が欠けたときは、委員長等があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第7条 会議は委員長等が必要に応じて招集する。

2 委員長等は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見や説明を求めることができる。

(議事録)

第8条 推進委員会は、議事録を作成し、これを公開する。

(庶務)

第9条 推進委員会の庶務は福祉課で行う。

(災害補償)

第10条 委員の職務上生じた災害については、真室川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例(昭和42年条例第33号)の規定を準用する。

(その他)

第11条 この規程に定めるもののほか、推進委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が推進委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成20年11月4日から施行する。

(委員の任期の特例)

2 平成20年に任命される委員の任期は、規程第4条にかかわらず、平成22年3月31日までとする。

附 則(平成25年8月1日規程第2号)

この規程は、公布の日から施行する。

附 則(令和5年4月1日告示第36号)

この規程は、公布の日から施行する。

(2) 真室川町地域福祉計画 介護・老人福祉部会 委員名簿

(任期：令和5年6月1日～令和8年5月31日)

氏 名	職 名 等	備 考
佐藤 陽一	特別養護老人ホーム福寿荘 荘長	部長
高橋 幸一	新及位いきいきサロン代表	
伊藤 正三	民生児童委員協議会 身障・高齢者部長	
眞室 司	真室歯科医院 院長	
沓澤 咲子	公募委員	

(3) 計画策定までの主な経過

年月日	事項	内容
令和5年3月 ～9月	在宅介護実態調査 介護予防・日常生活圏域二ーズ 調査	
令和5年7月3日	第1回介護・老人福祉部会	計画策定スケジュール等
令和6年2月26日	第2回介護・老人福祉部会	第8期取組の評価、第9 期計画の意見聴取
令和6年1月22日	山形県への意見照会	
令和6年2月21日 ～3月19日	パブリックコメント	意見の公募

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施について

（１）調査の目的

地域のニーズや地域課題を客観的に把握することで、第 9 期計画策定に必要な基礎データの収集及び介護予防事業への活用を行うとともに、国の「見える化」システムを活用し、高齢者等が抱える課題調査・分析を行い、計画策定に役立てることを目的とする。

（２）調査の概要・結果

調 査 対 象 者	要介護認定を受けている方を除く介護保険第 1 号被保険者 （介護施設入所者等は除く） 約 2,392 人
調 査 方 法	郵送調査方法（発送・回収）
調 査 期 間	令和 5 年 3 月 7 日～4 月 7 日
回収数（率）	1,776 件 （74.2%）

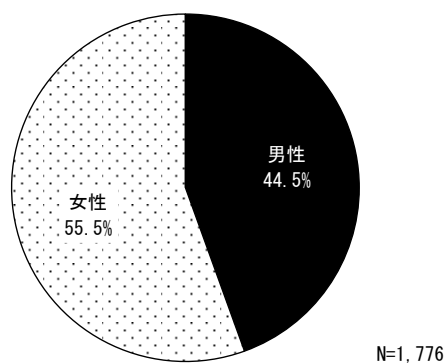
（３）調査結果の見方

- ① 図表の中の N とは、回答者数のことである。
- ② 百分比は回答者総数全体（該当設問においては該当者数）に占める設問の選択者数の比率として算出している。なお、図表では小数点第 2 位をそれぞれ四捨五入しているため、百分比の合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 1 つの設問において 2 つ以上の回答を求めたものもあり、従ってその場合の百分比の合計は 100%を超える。
- ④ 各層別の分析において、回答者総数が僅少なものについては誤差が大きくなるため、本文での分析からはずすなど、参考として傾向をみるにとどめている。

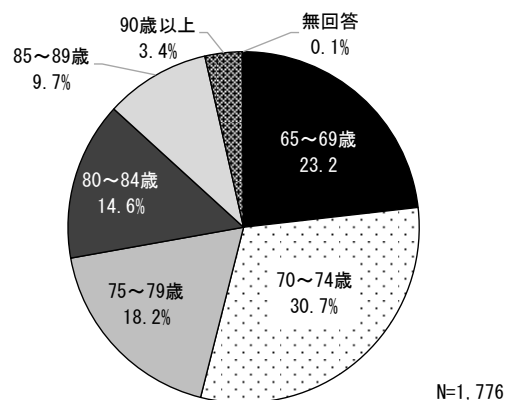
《介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果》

1. 属性

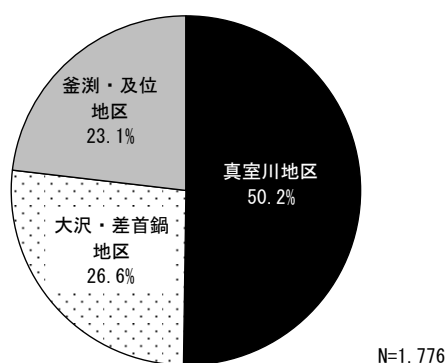
(1) 性別



(2) 年齢

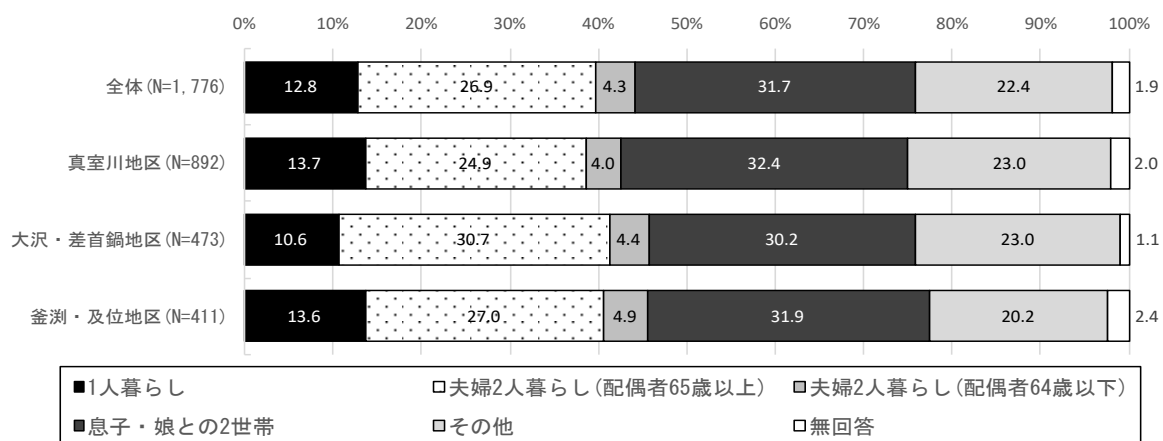


(3) 地区

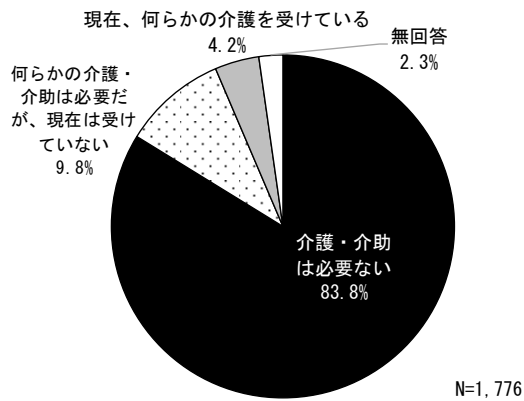


2. 家族や生活状況について

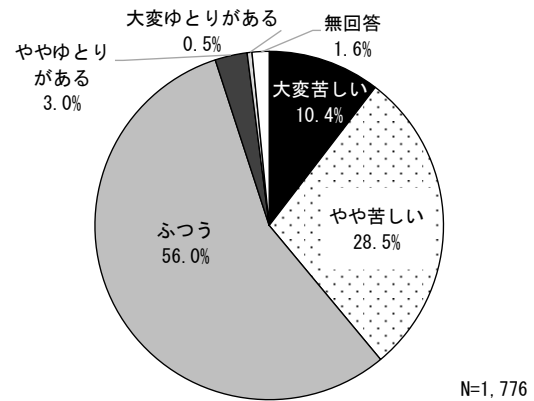
(1) 家族構成について



(2) 普段の生活で介護・介助が必要か

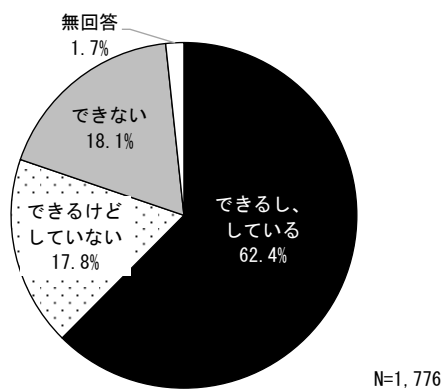


(3) 現在の暮らしは経済的にどうか

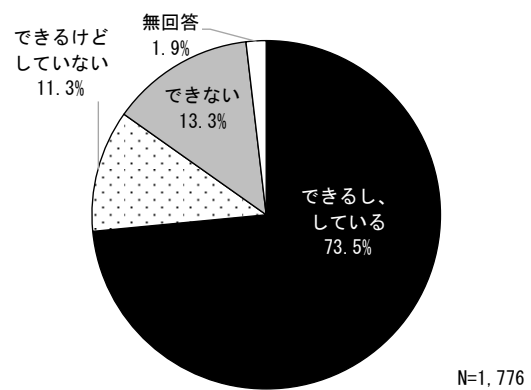


3. からだを動かすことについて

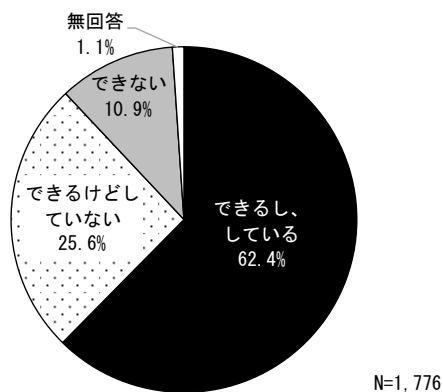
(1) 階段を、手すりや壁をつたわずに昇れるか



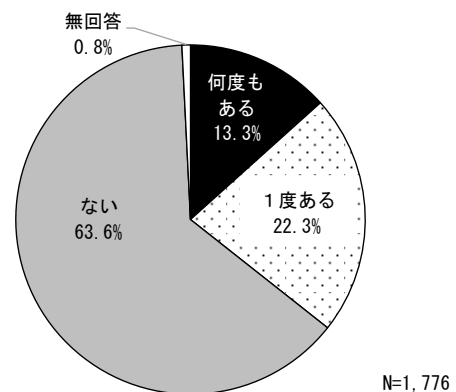
(2) 椅子に座った状態から、何にもつかまらずに立ち上げられるか



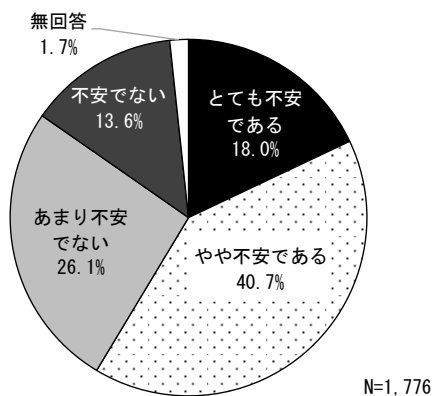
(3) 15分くらい続けて歩けるか



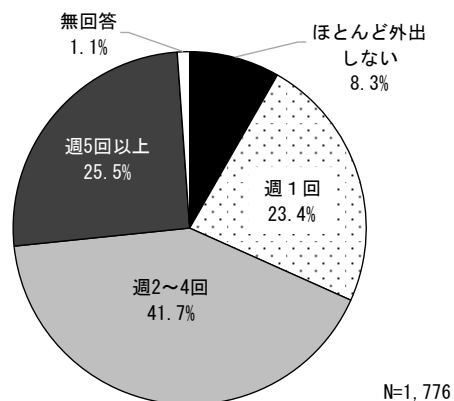
(4) 過去1年間に転んだことがあるか



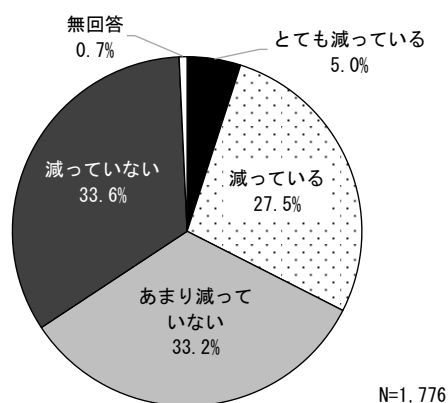
(5) 転倒に対する不安は大きい



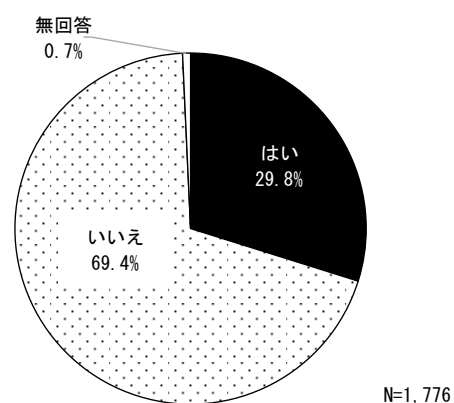
(6) 週に1回以上は外出しているか



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

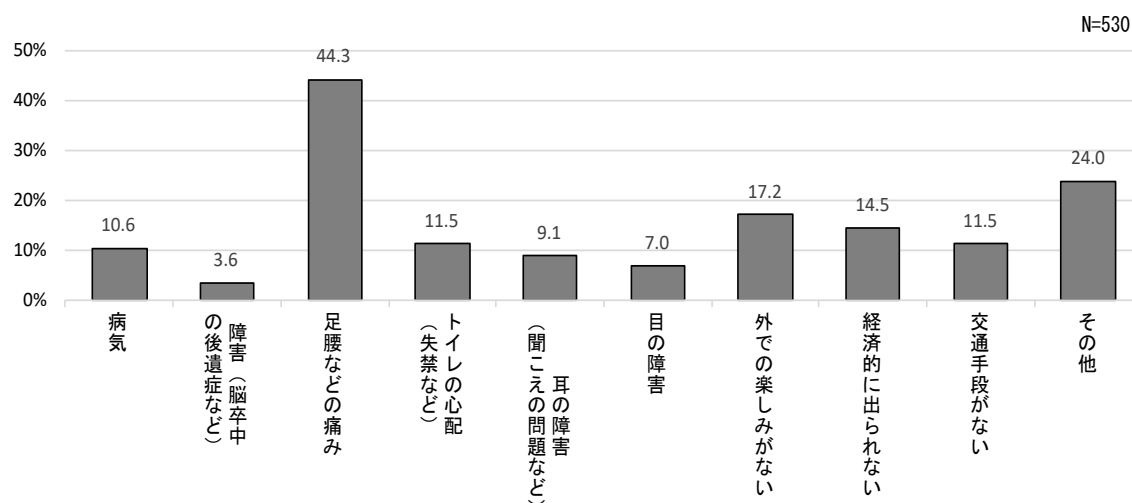


(8) 外出を控えているか

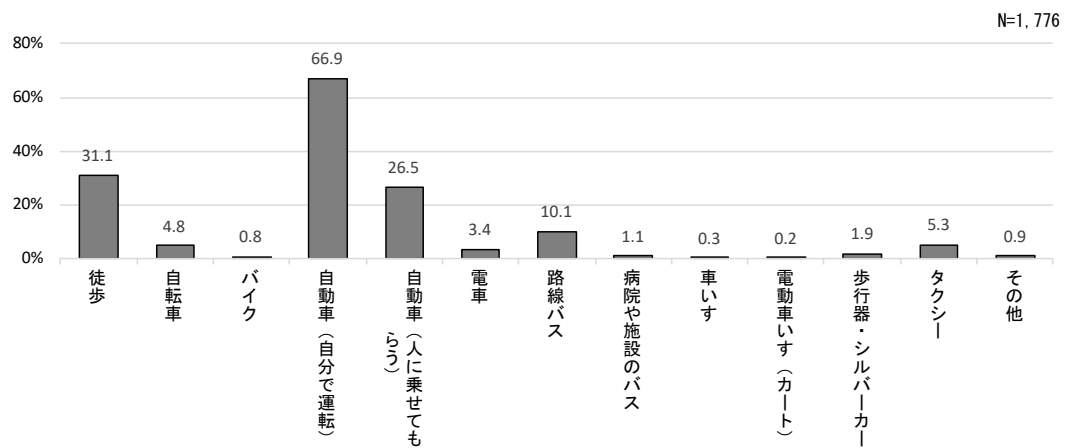


(8-①) 外出を控えている理由(複数回答)

【(8)で「1.はい」(外出を控えている)の方のみ】



(9) 外出する際の移動手段は何か（複数回答）



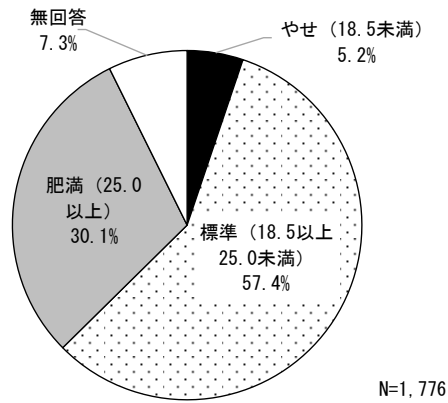
【性別・地区別・年齢別】

(%)

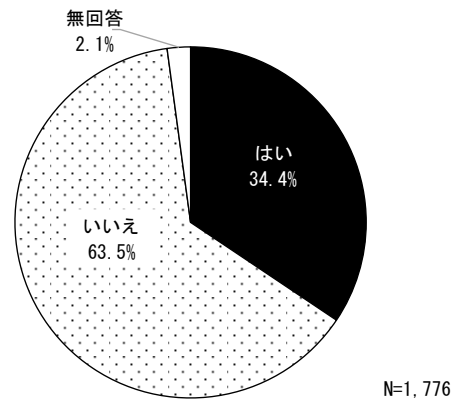
		調査数 (N)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他
全体		1,776	31.1	4.8	0.8	66.9	26.5	3.4	10.1	1.1	0.3	0.2	1.9	5.3	0.9
性別	男性	790	29.5	6.5	1.8	80.3	12.2	2.7	6.1	0.6	0.4	0.3	0.1	2.9	0.5
	女性	986	32.4	3.4	0.1	56.3	38.0	4.1	13.3	1.4	0.2	0.2	3.3	7.2	1.2
地区	真室川地区	892	34.5	5.7	0.9	66.5	26.1	4.3	9.4	1.1	0.2	0.2	1.3	8.1	1.0
	大沢・差首鍋地区	473	25.8	2.3	0.4	68.3	26.8	1.1	7.4	1.1	0.4	0.0	2.7	3.2	1.3
	釜淵・及位地区	411	29.7	5.6	1.2	66.4	27.0	4.4	14.6	1.0	0.2	0.5	2.2	1.7	0.2
年齢	65～69歳	412	28.6	4.1	1.2	87.1	14.1	2.7	4.6	0.2	0.0	0.2	0.0	1.7	0.2
	70～74歳	546	29.5	4.4	1.1	81.1	19.4	3.5	6.2	1.1	0.2	0.0	0.2	2.0	0.5
	75～79歳	324	30.6	5.9	0.6	67.9	25.3	3.4	7.1	0.3	0.3	0.0	1.5	4.9	0.6
	80～84歳	259	36.7	6.2	0.4	45.9	39.0	4.6	19.7	1.9	0.4	0.0	2.3	9.7	2.7
	85～89歳	172	35.5	5.2	0.6	24.4	47.1	4.7	24.4	1.7	0.6	1.7	8.7	13.4	0.6
	90歳以上	61	29.5	0.0	0.0	8.2	68.9	0.0	16.4	4.9	1.6	0.0	11.5	19.7	3.3

4. 食べることについて

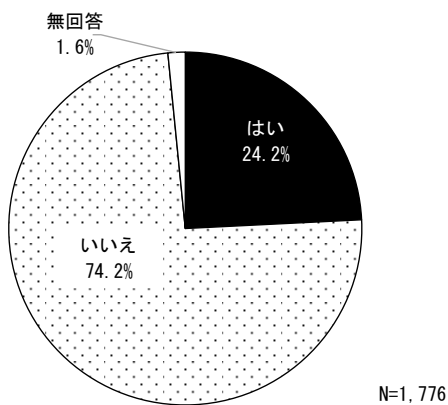
(1) BMI



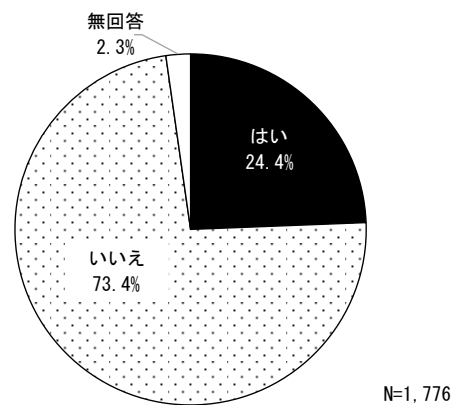
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか



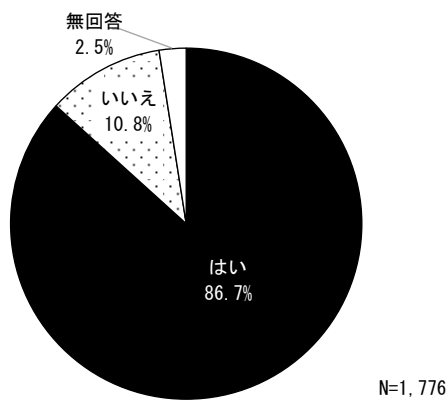
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか



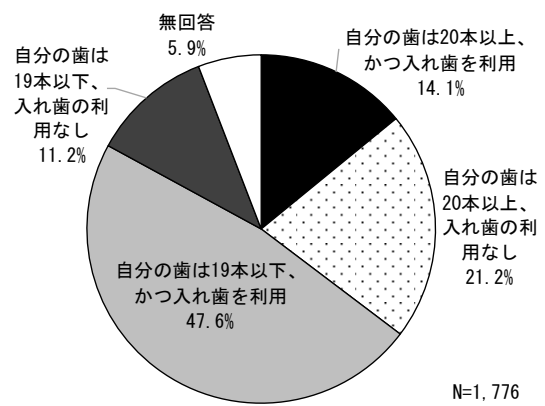
(4) 口の渇きが気になるか



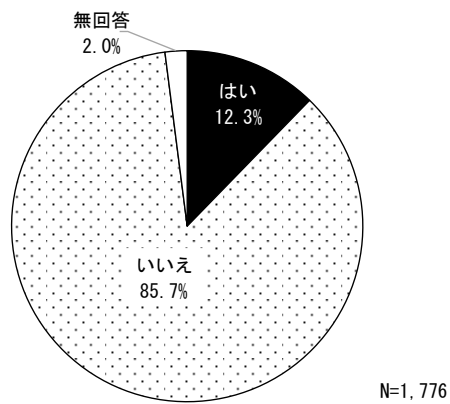
(5) 歯磨きを毎日しているか
(人にやってもらう場合も含む)



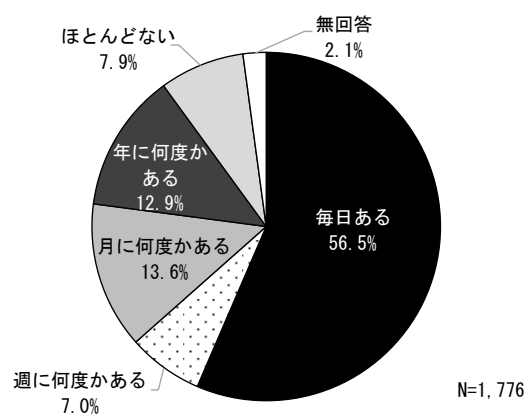
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況は



(7) 6 か月間で2～3 kg 以上の体重減少があったか

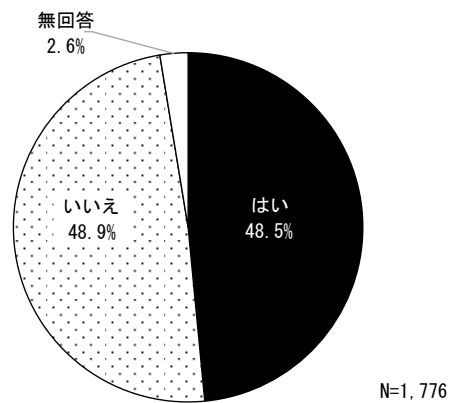


(8) どなたかと食事をとる機会はあるか

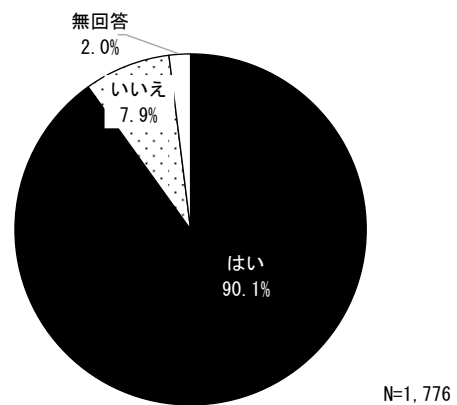


5. 毎日の生活について

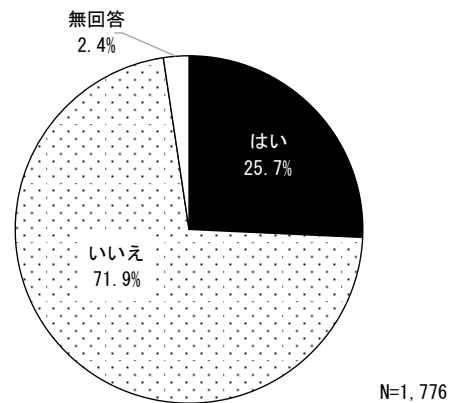
(1) 忘れ物が多いと感じるか



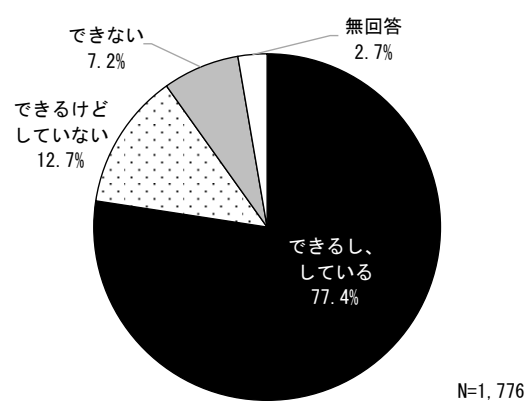
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけるか



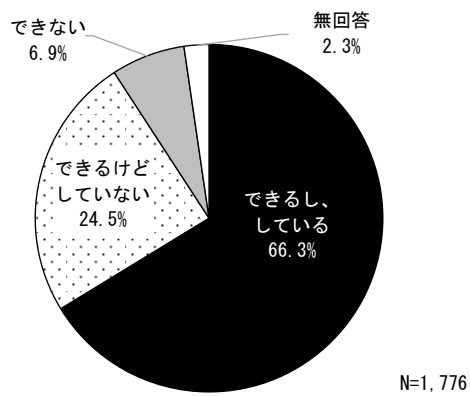
(3) 今日が何月何日か分からないときがあるか



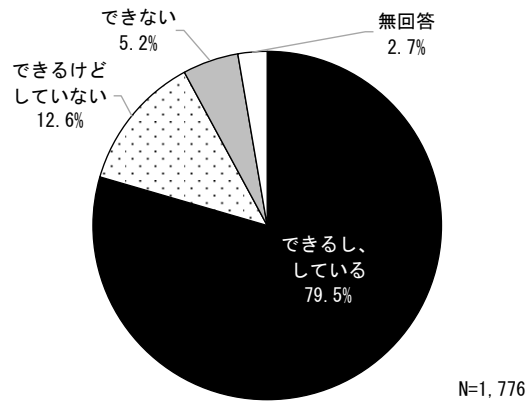
(4) バスや電車を使って1人で外出しているか（自家用車でも可）



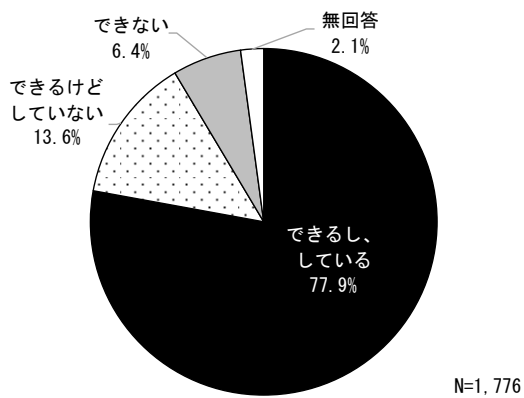
(5) 自分で食事の用意をしているか



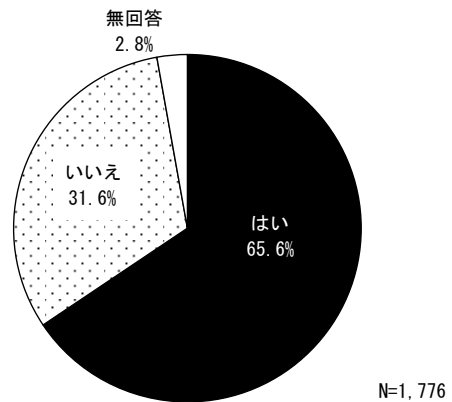
(6) 自分で請求書の支払いをしているか



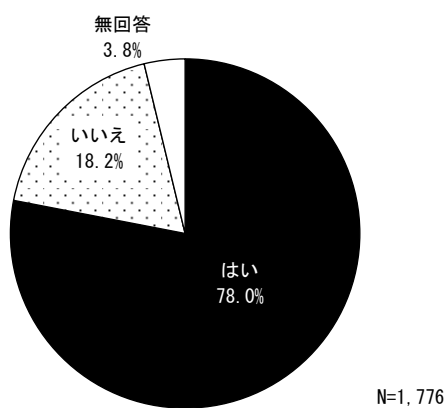
(7) 自分で預貯金の出し入れをするか



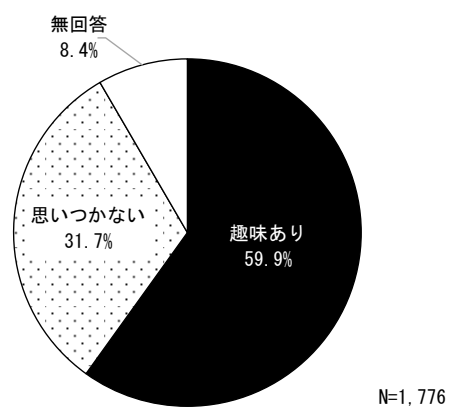
(8) 友人の家を訪ねているか



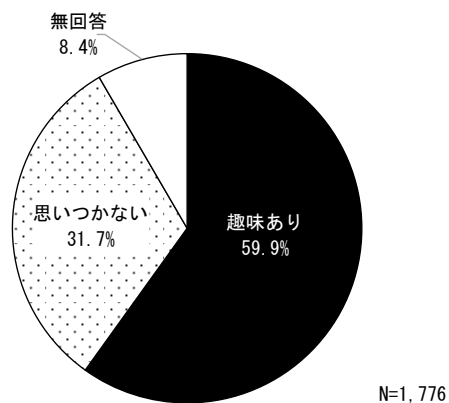
(9) 家族や友人の相談にのっているか



(10) 趣味はあるか

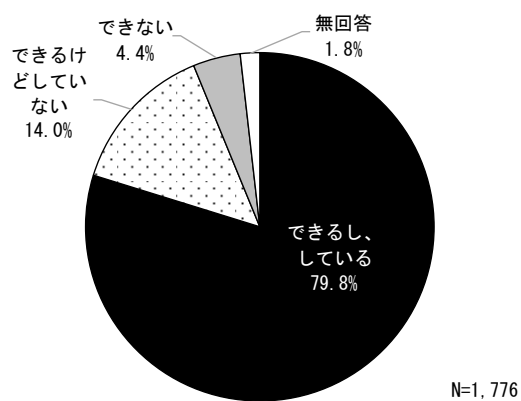


(11) 生きがいはあるか



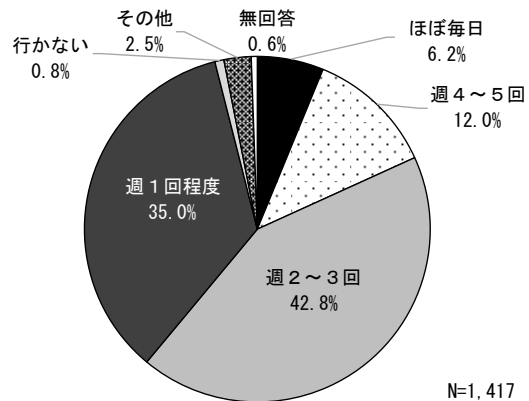
6. 買い物の環境について

(1) 自分で食品・日用品の買物をしているか



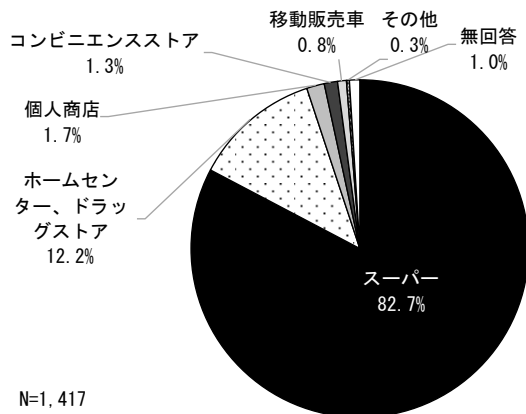
(2) 普段、買い物に出かける回数はいくら

【(1)で「1.できるし、している」の方のみ】



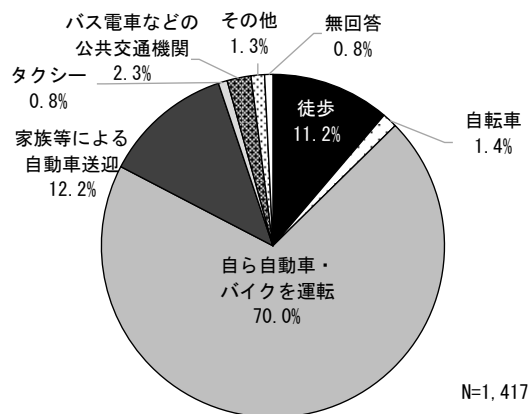
(3) 日常の買物で、最もよく利用するお店
はどのようなお店か

【(1)で「1.できるし、している」の方のみ】



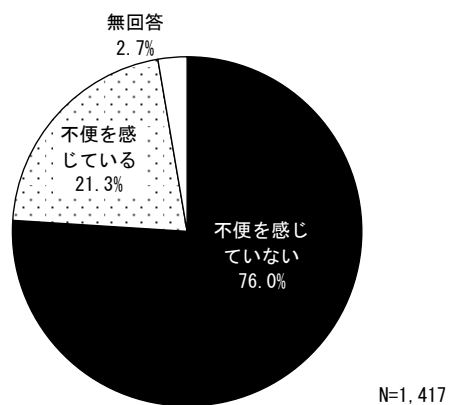
(4) 自宅から最もよく利用する店まで、ど
のように移動しているか

【(1)で「1.できるし、している」の方のみ】



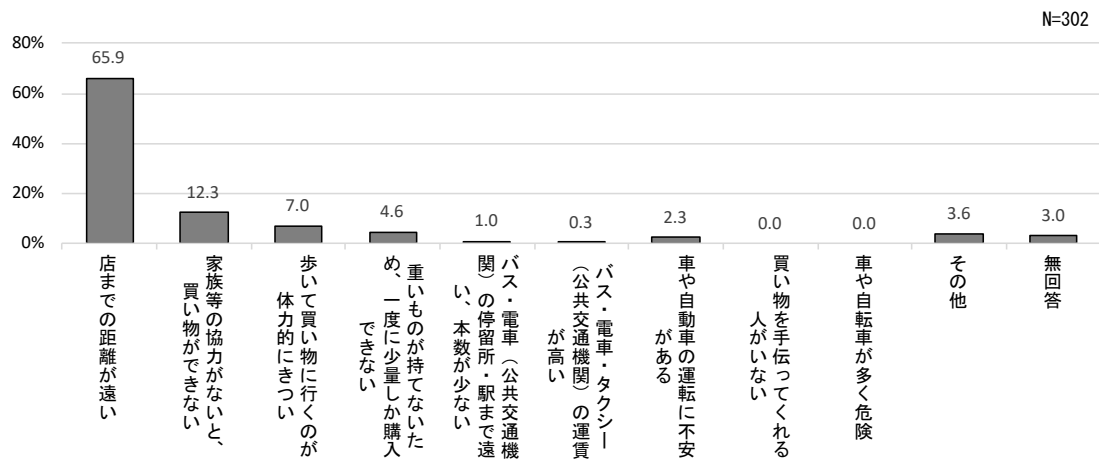
(5) 日常の買物において不便を感じてい
るか

【(1)で「1.できるし、している」の方のみ】

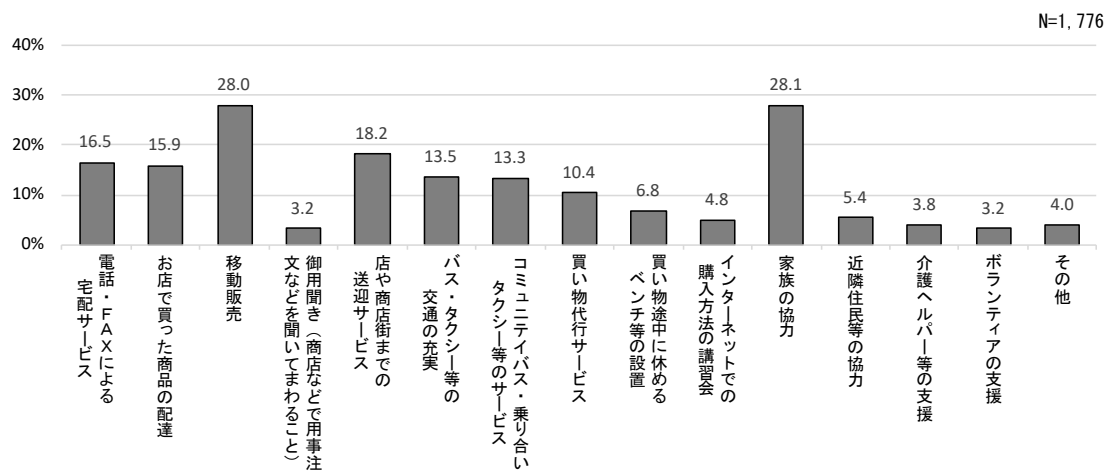


(6) 【(5)で「2.不便を感じている」の方のみ】

それはなぜですか、特に困りだと感じていることを1つ選んでください



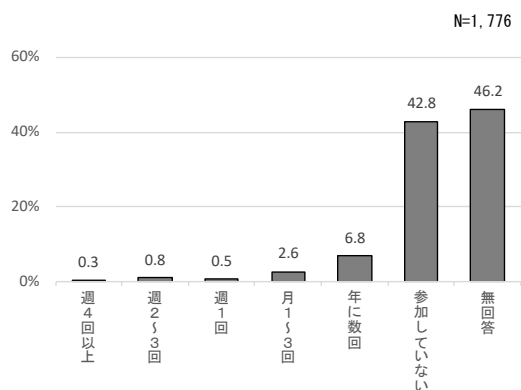
(7) 今後、買い物の環境を良くするために、何が必要か（複数回答）



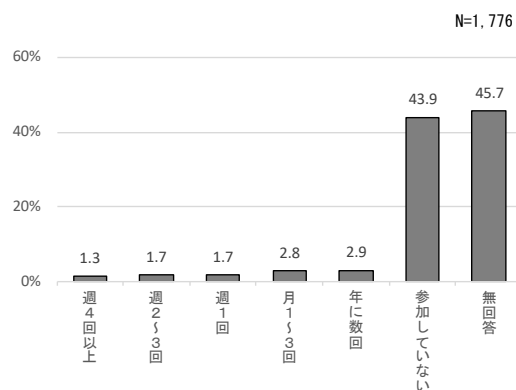
7. 地域での活動について

(1) 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加しているか

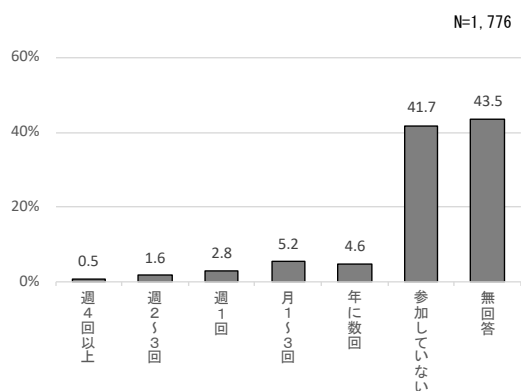
①ボランティアのグループ



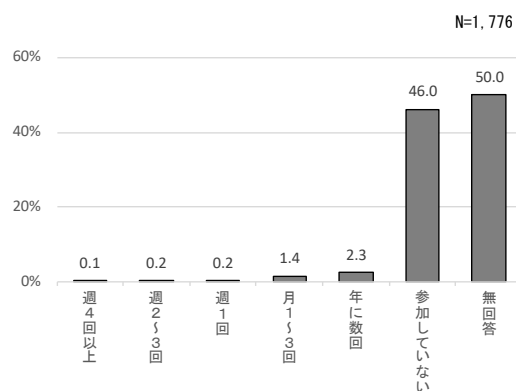
②スポーツ関係のグループやクラブ



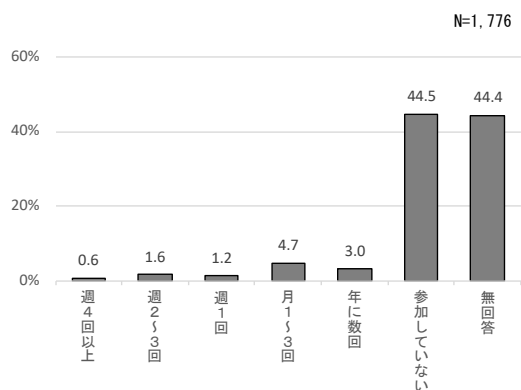
③趣味関係のグループ



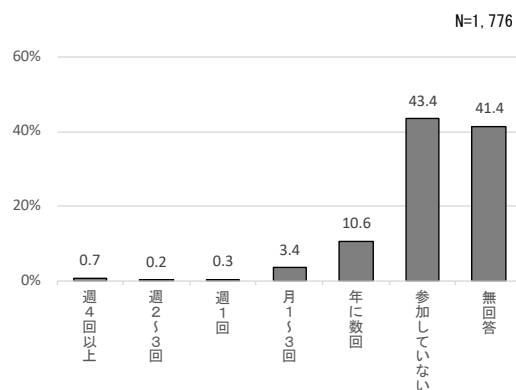
④学習・教養サークル



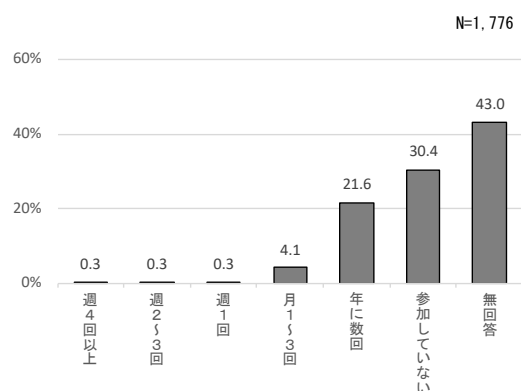
⑤サロン、あべあべ、うめっこ隊など、介護予防のための通いの場



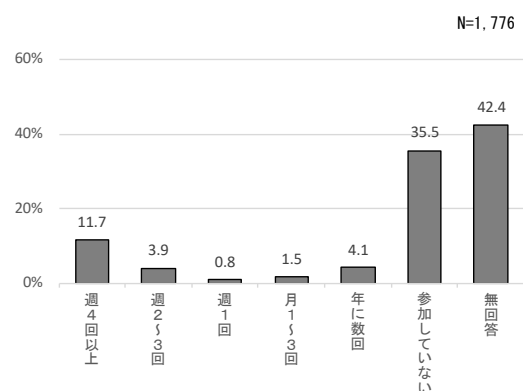
⑥老人クラブ



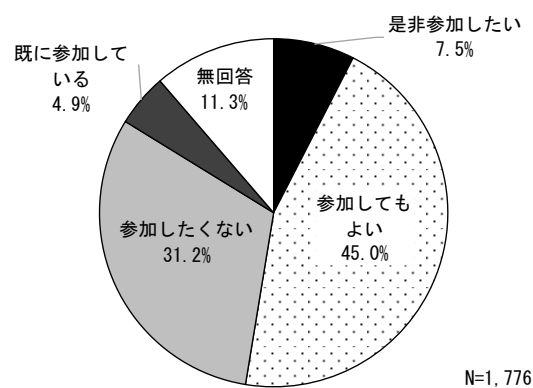
⑦町内会・自治会



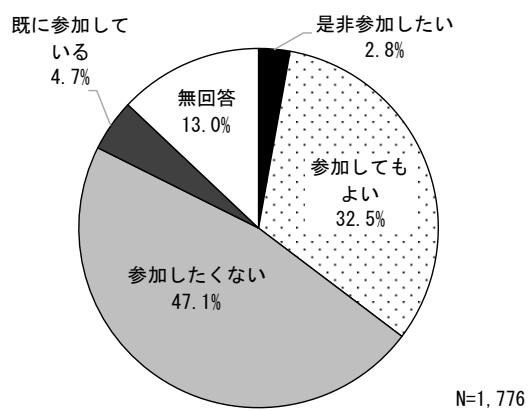
⑧収入のある仕事



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思うか



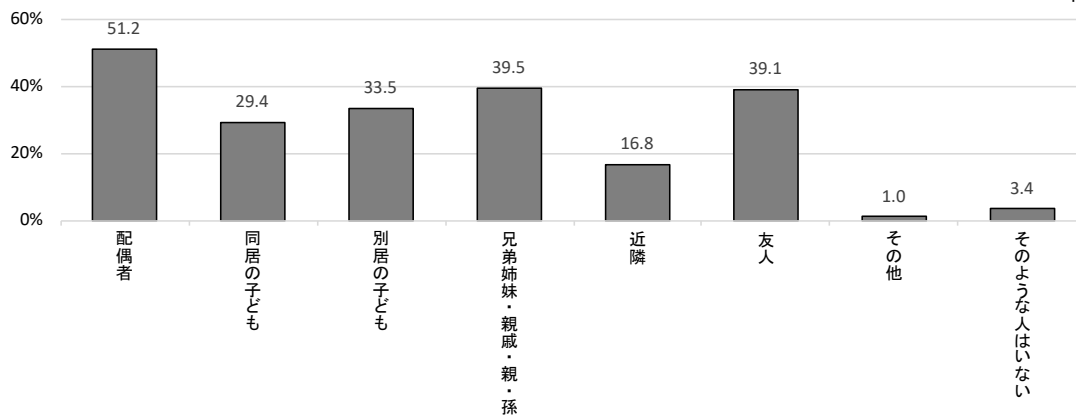
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うか



8. たすけあいについて

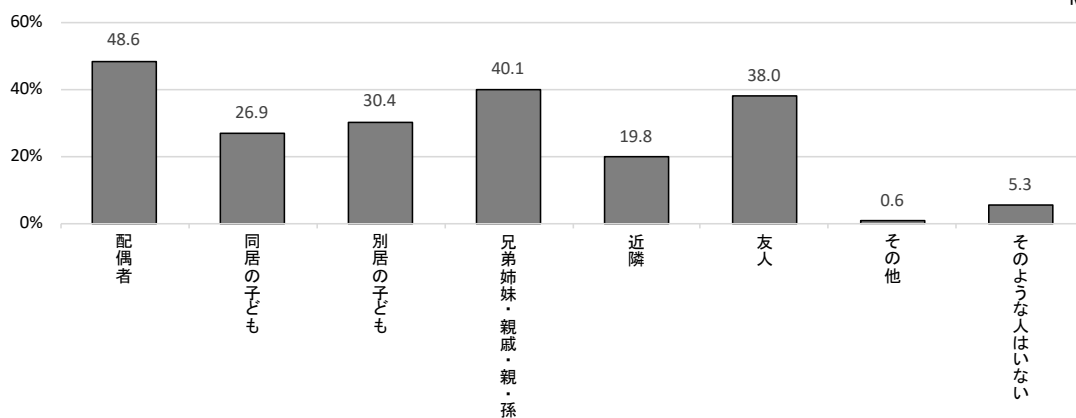
(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）

N=1,776



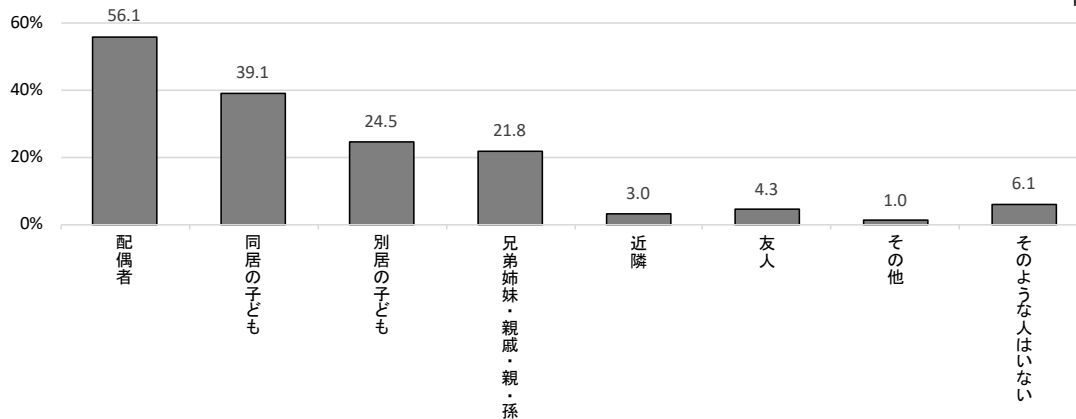
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（複数回答）

N=1,776

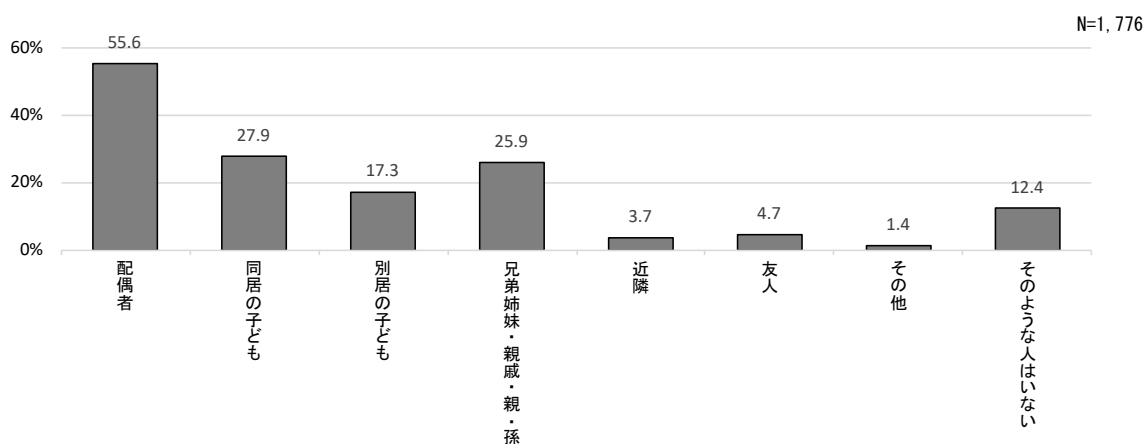


(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

N=1,776

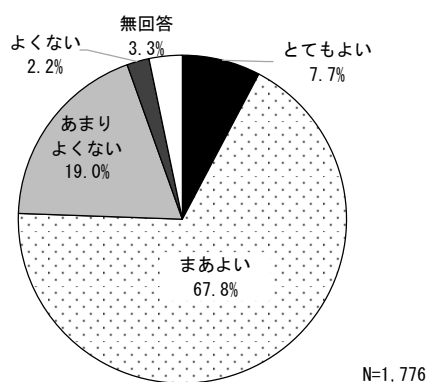


(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(複数回答)

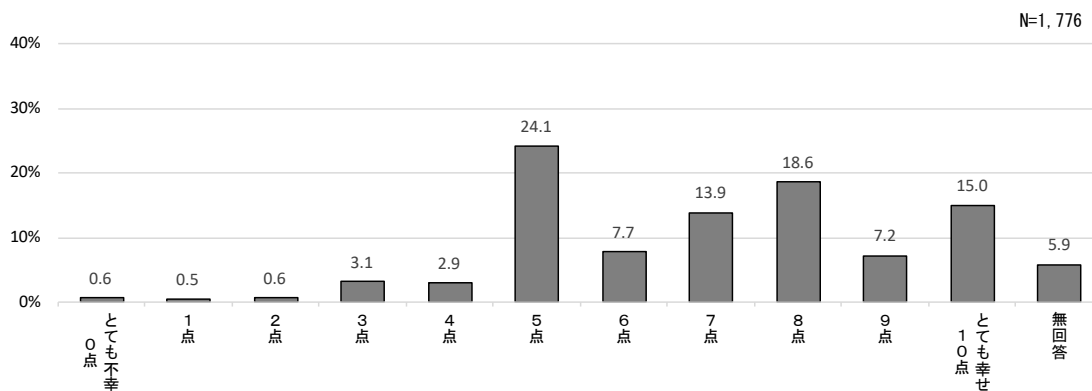


9. 健康について

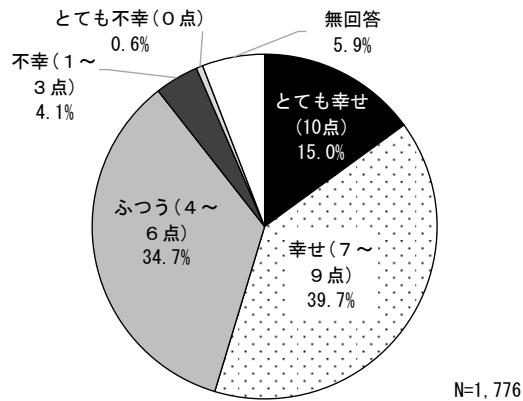
(1) 現在のあなたの健康状態は



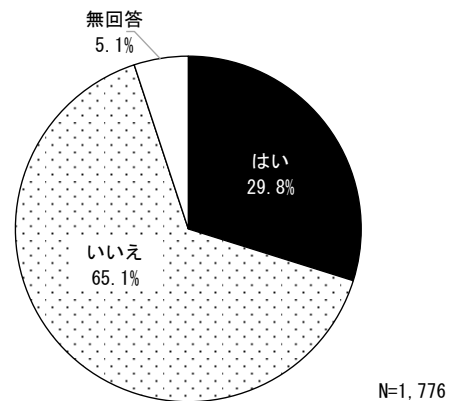
(2) 現在、どの程度幸せか (「とても不幸」が 0 点 ~ 「とても幸せ」が 10 点)



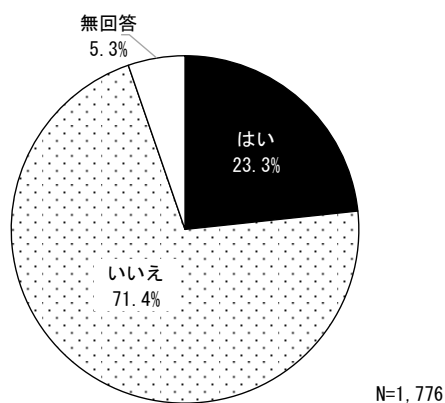
(2) 幸福感



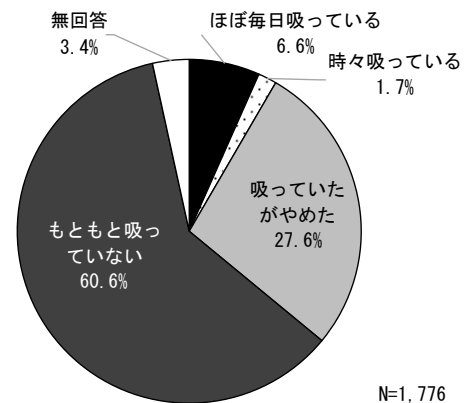
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあったか



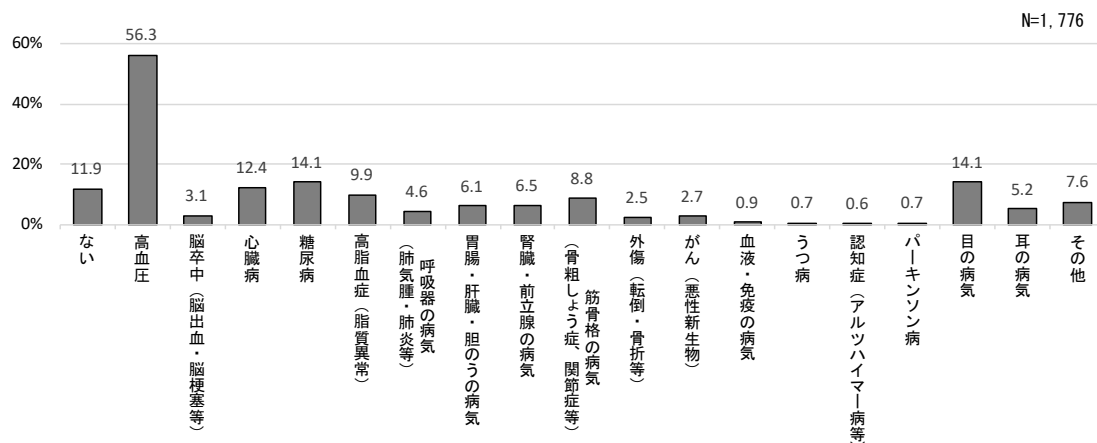
(4) この1か月間、心から楽しめない感じがあったか



(5) タバコは吸っているか

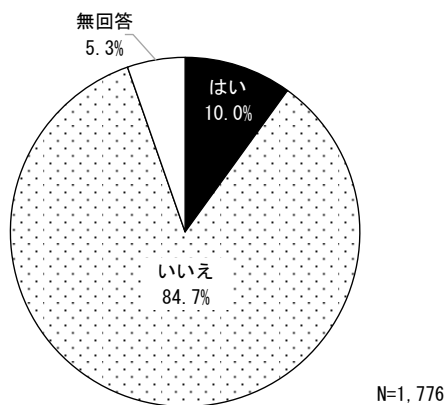


(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はあるか (複数回答)

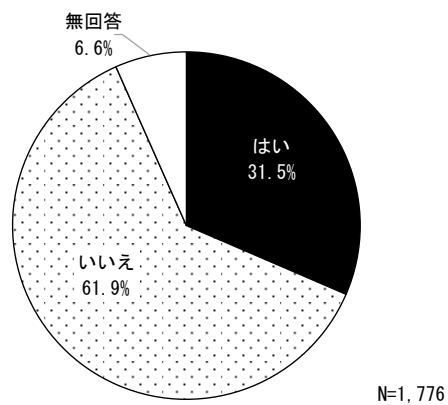


10. 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



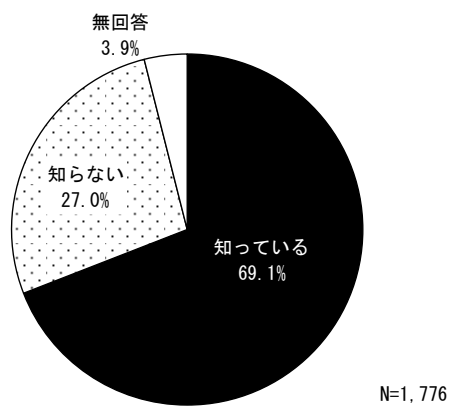
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか



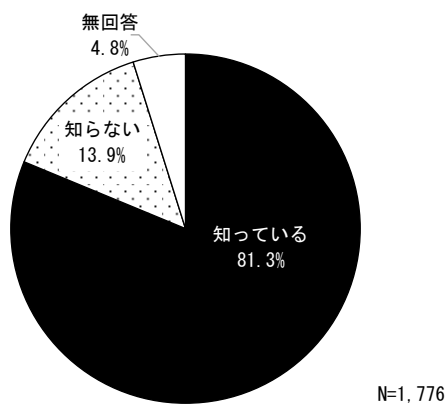
11. 町の高齢者福祉サービス等について

(1) 町が実施している、次のような福祉サービスを知っているか

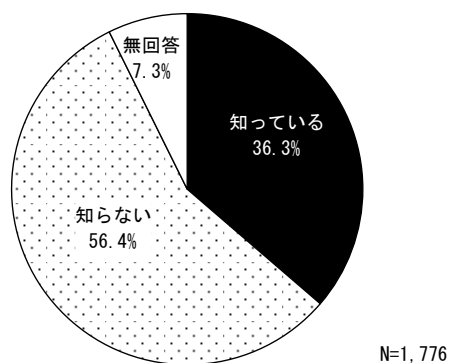
①紙おむつ支給事業



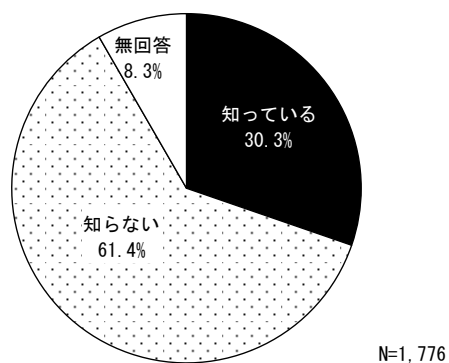
②除雪支援事業



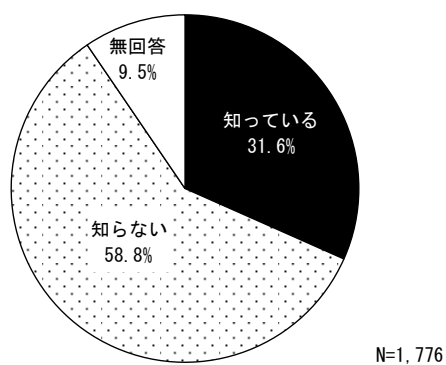
③救急タクシー事業



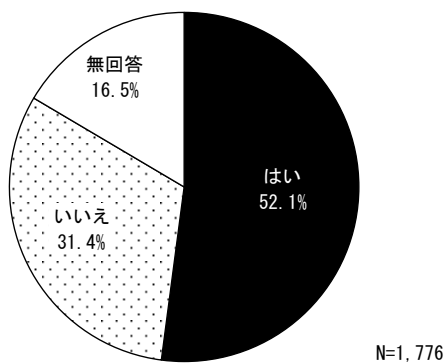
④重度要介護高齢者介護者激励金支給事業



⑤緊急通報システム事業



⑤-2 この機器は、利用者が「ボタンを押すことで通報できる」機能となっておりますが、今後「自動で24時間に1度安否確認できる」等の機能が追加された場合、システムを利用したいと思うか



12. 町にあればいいと思う高齢者サービス（自由記載）※一部抜粋

介護予防・集いの場

高齢者が増える今、やはり1人で何でも出来るようになる取り組みをしてほしい。人の世話にならないように足腰を鍛えていつまでも歩けるような取り組み、そういうサービスを要望します。
数ヶ月ごとの健康相談や血圧測定出来る場所。
要介護にならないために体操やいろんな運動ができる施設（指導者がいるところ）があれば、良いと思う。
サロンで月一回でも集まって話ができたらいいなあと思ってます。
気軽に立ち寄れる場所、休める所、お茶したり、会話したり、本を読んだり…誰にも気兼ねなく休める場所です。

買い物・移動

今は車に乗るので不便を感じないが病気がしたとき、認知症になったときに買い物が不安です。1人～2人暮らしが多くなってきているので地域の支えが必要です。
買い出しに来られる方と思いますが、大きな重たい荷物を背負い、持って歩かれている様子を見かけます。注文、宅配などのサービスが充実すればいいなあと思います。
タクシー利用の際に割引が良くなれば。
電動バイクの貸出など
バスの無料。自分が運転できなくなったり、家族にいちいち頼むのが大変
町のバスに補助する人を。押し車で買い物に行く時乗り降りの手助けをお願いしたい。
真室川町はとても住み良い町と思っています。でもだんだん買い物が大変になるのでバスの数を増やしてもらえればと思ってます。
免許を返納した場合、長期的にバス券とかタクシー券等、充実して欲しい。高齢者施設が近くにあると良い。宅食サービスがあると良い。安くて美味しいもの！
山形県立新庄病院行きのバスがあるととてもありがたい。家の人が勤めを休まず自分でバスで行けるのでありがたい。
用事、買い物などのための乗り合いタクシーの充実（運転免許を返納してしまった人やバス停が遠く歩いていくのが大変なため）
用事でバスに乗る時、待ってる間に椅子があると助かります
私は身障者ですが、公共交通料金の割引サービスがある事を知りませんでした。手帳を配る等して教えてもらえないものではないでしょうか

見守り

高齢者見守りサービス（民間）への支援
在宅の高齢者は何となく孤立しているように見受けられます。年に2～3回保健師さんの顔見訪問などがあれば気持ち的に安心できると思います。（80才以上とか）
年に1、2回ほど自宅にて心の相談、病気等来てくれるとありがたいです。
病気や怪我で動けなくなる前に健康なうちに、いざというとき相談できるケアマネさんとか担当部署が決まっていると良いと思います。特に独り暮らしで自分が動けないとなると、どうしていいか分からなくなると思います。
福祉課の方で月1回ひとり暮らしの家を回って話をするなどしたら…。各地区の民生委員が回るとか…。
収入は、年金だけなので施設に入っても支払いはできるのかと思う。でも出来る限りは自宅で暮らしていきたいので、声をかけてくれる地域の人との関りが大切だと思う。一日一回程度、見回りしてくれるということがあればいいと思う。

入所施設

シェアハウス（年金入居可能な所）
施設（ゆうゆう）等が不足しているので増設して欲しい
年金額内で高齢者が入所できる施設があれば大変ありがたいと思っています。
一人暮らしのため、急病で入院して退院した後、施設で何日か泊めてもらえるところがあると安心です。
まだ体が動かせるうちに誰でも入れる町運営の高齢者のための施設があれば良いと思います。

福祉用具

介護者と出掛けられる車椅子が入る車のレンタル業者
介護申請しなくても、歩行が困難な人のために車椅子の貸出をしてくれると助かります。（長期じゃなくても、外出時1回のみとか）
公共施設には車椅子の他にシルバーカーや杖等が少しでもあると優しいのかなと思う。取り立てたサービスよりも日常生活の中での対応の良さを高められるといいかも？（サービス利用時・窓口等の応対等）
シルバーカーを貸してくれるところが欲しい

その他

親を介護する時代と今自分の年齢も近いので福祉サービスの話を聞いてみたいです。健康なうちに
各公民館で直接高齢者の声を聞いてくれる場を設けて欲しい。アンケートでは現実より良い所を記入しがち。
高齢者が参加、もしくは見学できるイベント等を企画してほしい。
高齢者詐欺防止対策
高齢者福祉サービスがいろいろあるが、どこにどういう風に申請するとかまだ把握していない。パンフレットとか配布して頂けたらと思います。サービスの種類、申請課など（電話番号とともに）
高齢者の料理教室もあるといいと思う。あまり対象者はいないかもしれないが認知症の進行防止にも良いと思う。
実行、継続性による有償ボランティア団体
終活事業
食事の提供（1日1食）（割安で） ボランティアで配食、調理
所得制限のない高齢者福祉サービス
月に2～3回程、無料で入浴できるシステム等（65歳以上）入浴券の配布。月に2～3回程のお食事券など（無料）
冬季間の雪が心配。高齢となり除雪作業が出来なくなった時の支援をもっと充実して欲しい。
町での除雪機の貸し出し
年金収入者に生活支援制度があればよいと思う
一人暮らしの人が、病気や体調を崩した時に遠方に居る兄弟姉妹や子供を呼べない時に支援してくれる家政婦さんのような人に頼めるサービスがあれば良いと思います。
訪問介護、住宅介護支援、訪問医療に力を入れて欲しいと思います。特に一人暮らしの方、病院に一人でいけないような人をお願いします。
町に高齢者福祉サービスがあることはもちろんですが、私自身が思ってきたことは、地域の中でお互いが集まりお世話する（できる）お世話をしていただける関係をつかっていけたらいいなあと・・・自分たちの地域は自分たちで守っていく気持ちが出るといいな。元気老人、健康老人をめざしたいです。

1 2. 町の高齢者福祉について要望や意見（自由記載）※一部抜粋

介護予防

健康な高齢者を目指していくための体力作りや研修の場が足りないと思う。今、実施している「はつらつ体操」を月3回に増やすなど、シニアクラブの研修も年間を通しての場があれば学んでいきたい。

総合体育館のトレーニングルームには沢山の運動器具がありますが、使い方が分からなくて出来ないで随時教えてくれる人がいて欲しい。

買い物・移動

2年前より免許返納してます。町のバス運行回数より利便さを願いたい。行きは乗れるも帰りのバスは無い。病院とか食品の場合、町での買い物にも郵便局にも。

今は運転するので良いが返納するのはとても心配。交通手段も少なくなるし、人との交わりがほとんどとっていい位なくなる（今でも隣近所、部落との交わりがない）デマンドタクシーをもっと便利に利用する方法（どこでも乗り降り出来るなど）

買い物に行くにも（バスを利用して思うが）時間とゴーノメとかマックスバリュートとか町の中心をバスが通らないので通るようにして欲しい。一時間に一本という「時刻表」だとありがたい。

高齢者が自宅近くで買い物が出来るシステムがあれば便利だと思う。外出や歩く機会が増えて体を動かす気持ちが出るんじゃないかと思います。

高齢者の車の運転の安全講習などを町で積極的に進めてもらいたい。

病院への足がなく、困っている人もいます。気持ちよく通院ができる方法があればいつも思っています。

真室川町でも介護タクシー事業が必要だと思います。（町内事業で）

除雪

玄関、入り口付近の除雪

高齢者の住居の除雪作業はかなりの重労働の為、町の福祉の充実した支援を検討して頂きたいです。

一人なので家～町道まで100mm～自分でスノーダンプで毎日除雪しています。除雪をしてもらいたいです。一人暮らしの道を除雪して欲しい。

経済的支援

介護保険料が高いです。まもなく自分にかかってくるのは分かっていますが、低支給額(80万以下)の保険料が1割(約)で生活を圧迫しています。低年金額支給者に優遇措置があれば良いと思います。

年金が低いため、必要なものが思うように買えない。

医療

今後病院がなくなったらどうしようと心配します。

耳鼻科のように眼科も必要だと思う

年齢とともに身体への故障も多くなってきます。医療機関がものすごく少ないです。もっと病院や先生方を増やしてほしいです。切実です。無い科もたくさんあって新庄まで行かねばなりません。年とともに通院も大変です。

見守り

家族がいても日中1人の時、不安になる高齢者にボタンを押すシステムがほしい

自分がまだ動いているので何が必要になるのか気付けないかもしれないが、週に1、2度訪問して様子を見てくれるボランティアが居てくれたら心強いかなと思います。

老人二人暮らしの所への訪問、見守りして欲しい。

その他

①近くに気軽に入れるお茶を飲む場所②中央公民館の図書を読める場所、E X前の教育委員会の空きスペース等の利用等、駅の2階部分の会報等今ある施設の有効利用も進めて欲しい③75才以上で健康な方がたくさんいますので収入に関係なく町の役に立つ仕事があればいいのにと考えます。E X、町の梅の商品化
一日、自由に居れる場所がぜひ欲しい。
今のところ自力で生活出来ていますが、今後の状況の変化で不安要素が出てきた際、相談にのってくださる窓口がありましたらありがたいです。
映画等観賞したいです。
駅の外にもベンチがほしい
街灯をもっと増やしてほしい。特にカーブの白線が見えにくい（車での）老人は明るい服装で夜はあまり外出しないように心がけたい。
高齢者に出来る仕事があったらと思う
高齢者を対象に月一度のお茶のみ部隊の訪問、高齢者向けの情報誌の送付、ラジオで情報提供、落語家の講談会
災害時の非難のしかた、避難訓練など各地区、集落に来てやっていただきたい。（1人暮らしの老人や身体の悪い人のために）
小面積の菜園をします。耕してもらいますが細かいことを頼む人が居ませんのでショートで頼めることができればと、いつも思います。力がなくなり何か方策はないでしょうか。細かい仕事を何件かまとめてしてもらおうとか？ もちろん有料です。
送迎付きのレクリエーションを検討してもらいたい。
地域の高齢化が進んで空き家などが増えていく中で、今後の地域をどのようにしていくのか？具体的な方向性が必要なのではないでしょうか。
中央公民館までは行けないという人たちの為に各地域の公民館を利用する事業、サービスを多くしていただければと思います
町内の介護施設の利用状況の開示
町民が皆で支えあえるようであればいいと思います。
出前をしてくれる食堂があるといいと思っている。ラーメン他
年度初めに職員配置表を配布しているが、課ごとの代表的な仕事内容が記載されていれば電話も掛けやすいと思います。
一人暮らしにとって、万一入院した場合の家の管理や退院してからの援助 etc. 昨年は乗り越えても今年も…とは限らないので心配はつきません。
福祉の充実と併せて人材育成
町による囲碁、将棋等の趣味クラブがあれば良いと思う。
町の人口が減少するなか、若い女性が地元に残るような企業の誘致を考えて欲しい。
皆が集まる場所、イベントを多く企画してもらいたい
役場が利用者をあたたかく受け入れて人、町民とのつながりを大切にしている町であることがPRできる場であって欲しい。アンケートを取る事で改善点が具体的に見える形で改善して欲しい。
老人になっても、最後まで家族と暮らすことが（家族の仲がよかったです）最高の幸せだと思います。そういう意味では介護保険の使い道として、在宅の家族介護にもお金が出せる制度があれば良いと考えます。でないと、保険料などの捻出のため、働くために、施設に頼むという循環になるのだと思います。よく考えるべきです。

3 在宅介護実態調査の実施について

(1) 調査の目的

高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスの在り方を検討し、計画策定に役立てることを目的とする。

(2) 調査の概要・結果

調 査 対 象 者	在宅で介護を受けている要介護認定者とその介護者 (介護施設入所者等は除く) 254 人
調 査 方 法	ケアマネジャーへの依頼による訪問調査
調 査 期 間	令和 5 年 3 月 23 日～5 月 31 日
回収数(率)	172 件 (67.7%)

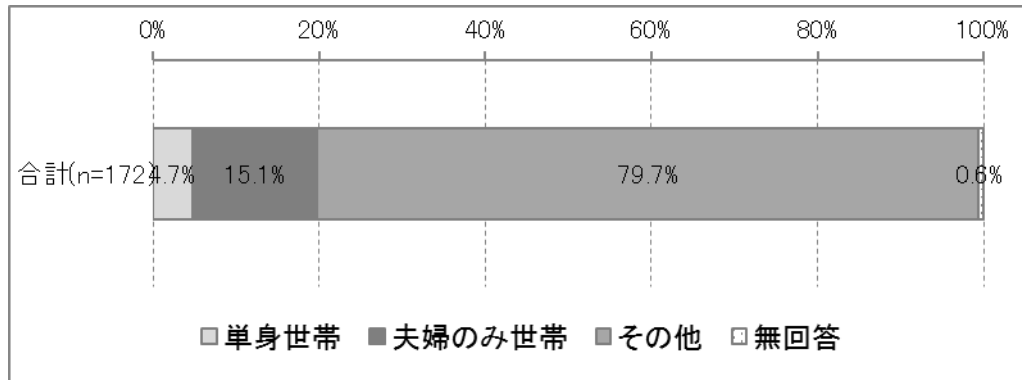
(3) 調査結果の見方

- ① 図表の中の N とは、回答者数のことである。
- ② 百分比は回答者総数全体（該当設問においては該当者数）に占める設問の選択者数の比率として算出している。なお、図表では小数点第2位をそれぞれ四捨五入しているため、百分比の合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 1 つの設問において 2 つ以上の回答を求めたものもあり、従ってその場合の百分比の合計は 100%を超える。
- ④ 各層別の分析において、回答者総数が僅少なものについては誤差が大きくなるため、本文での分析からはすすなど、参考として傾向をみるにとどめている。

《在宅介護実態調査結果》

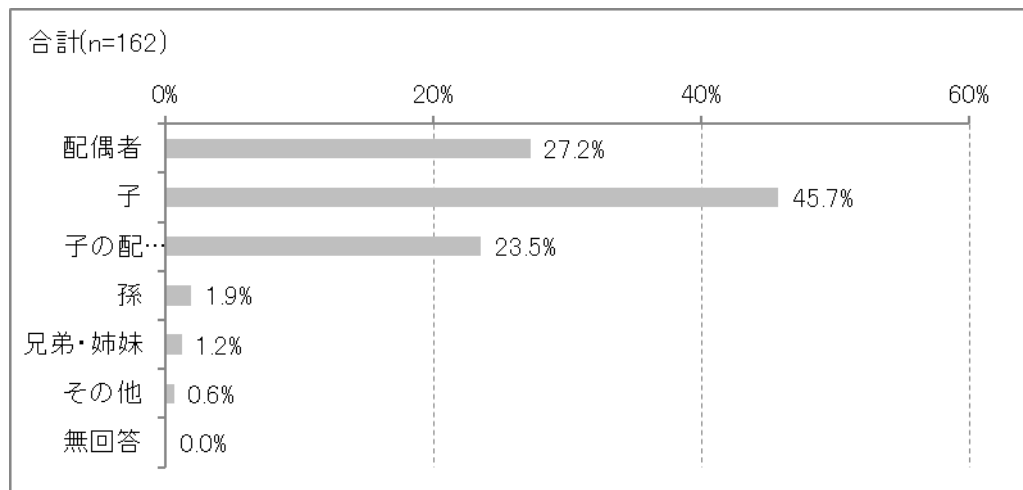
(1) 世帯類型

(単数回答)



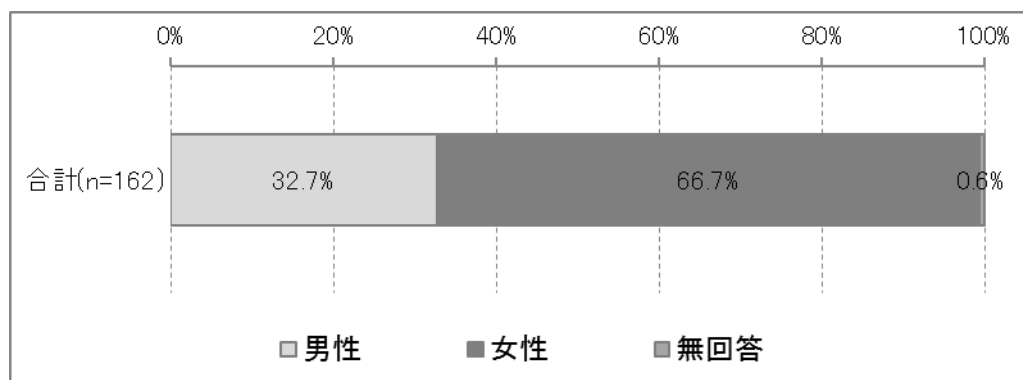
(2) 主な介護者の本人との関係

(単数回答)



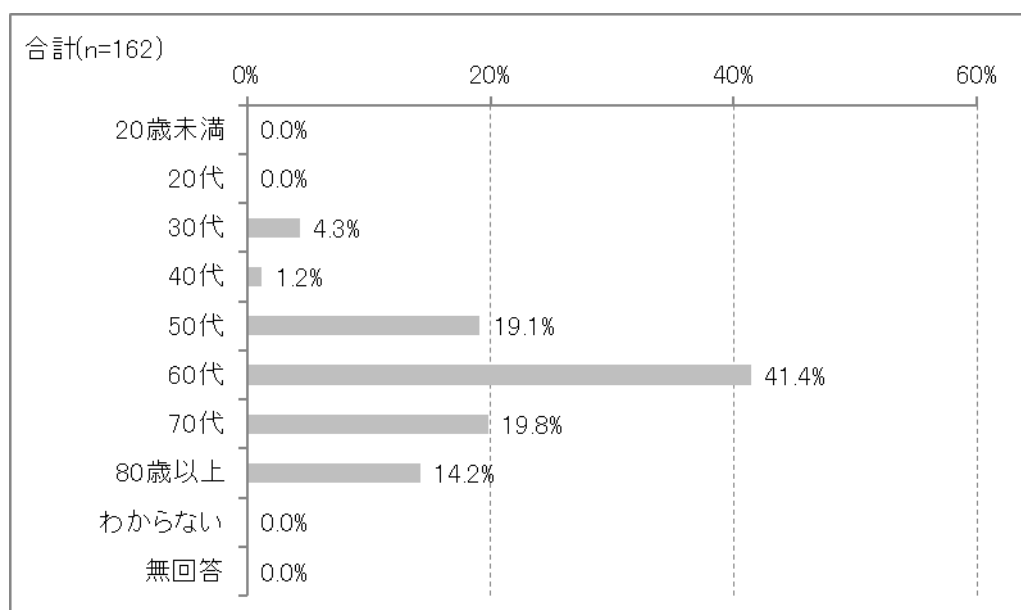
(3) 主な介護者の性別

(単数回答)



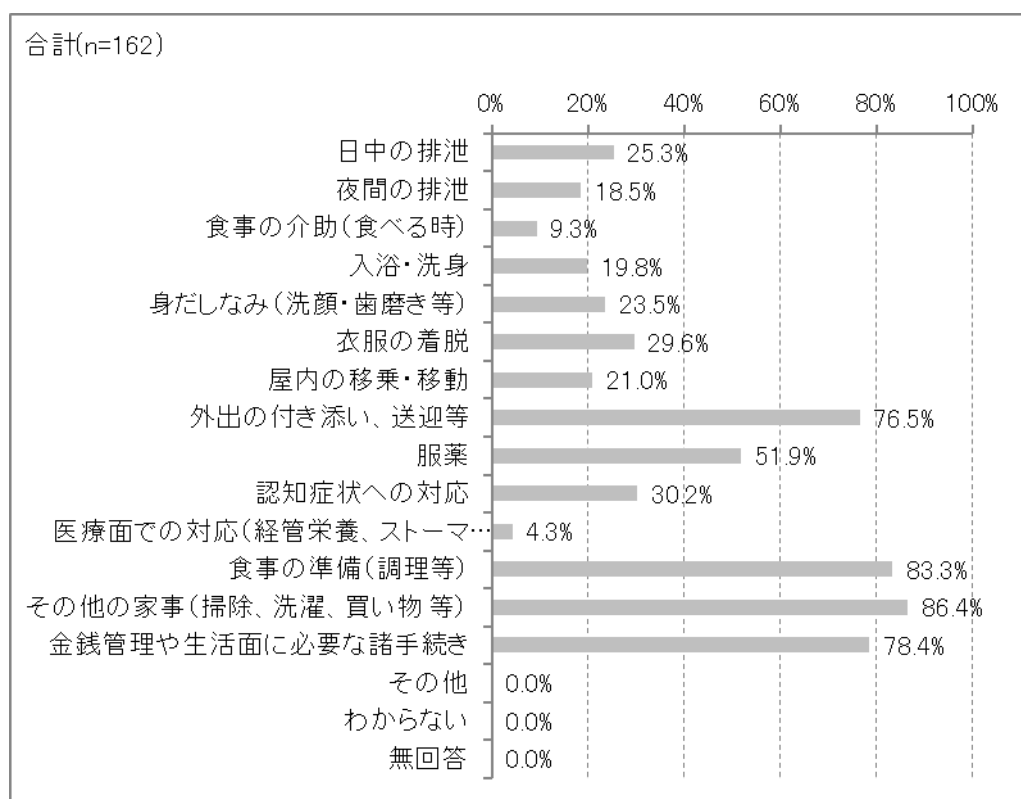
(4) 主な介護者の年齢

(単数回答)



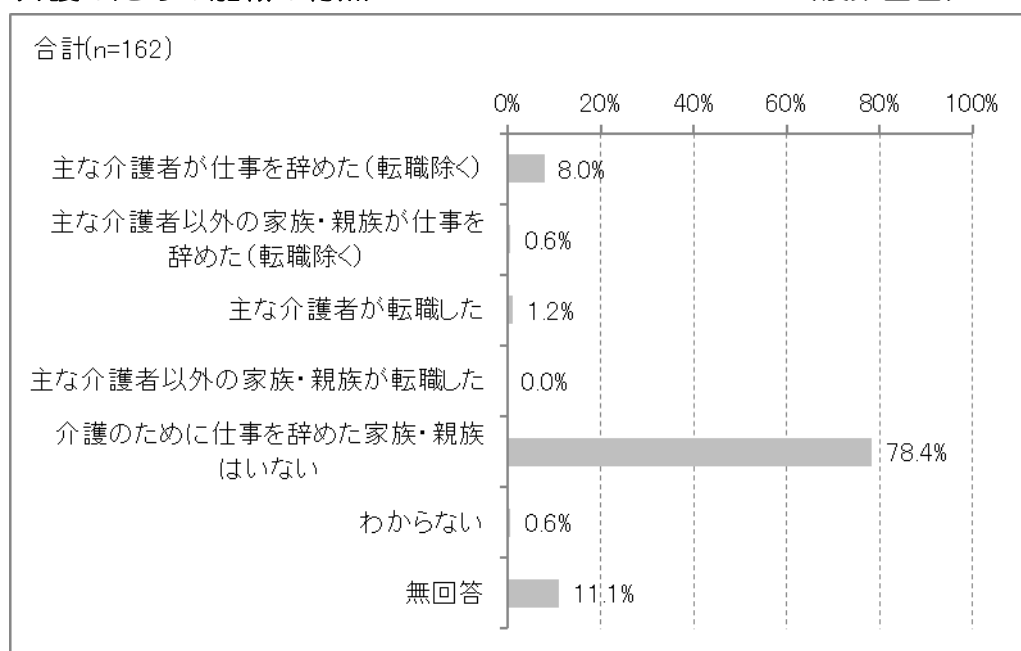
(5) 主な介護者が行っている介護

(複数回答)



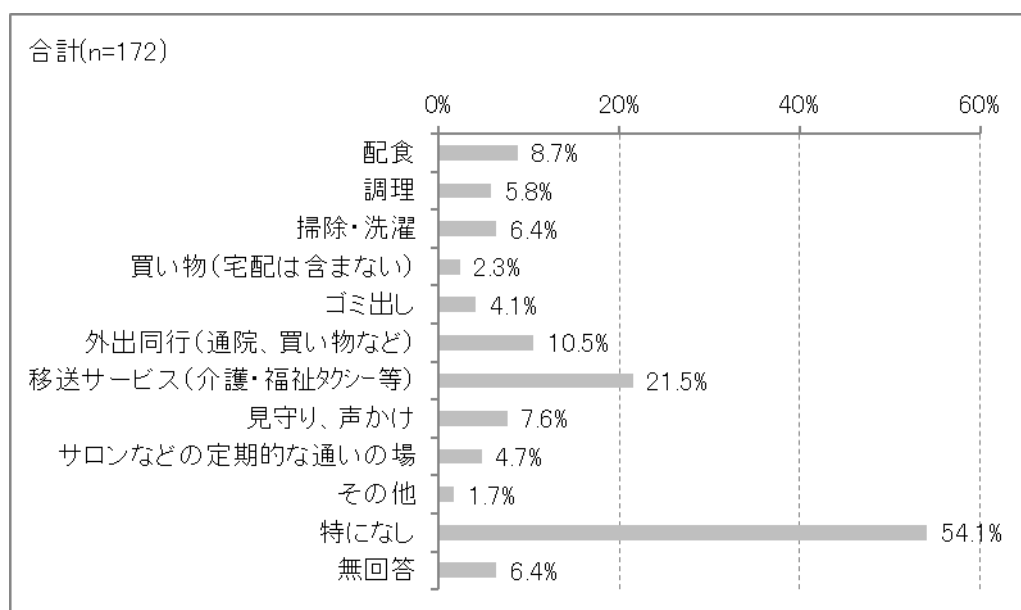
(6) 介護のための離職の有無

(複数回答)



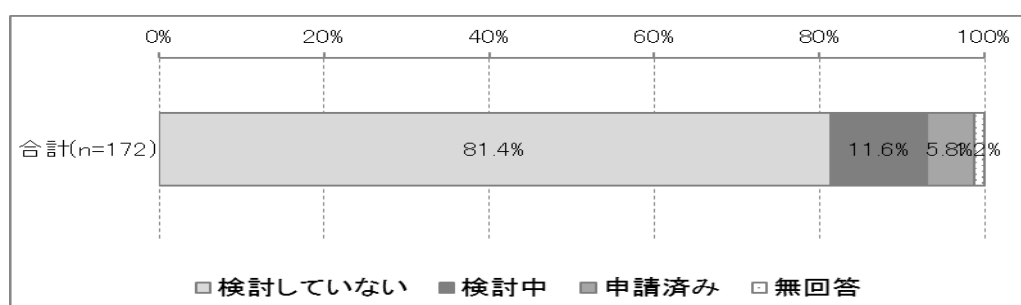
(7) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

(複数回答)



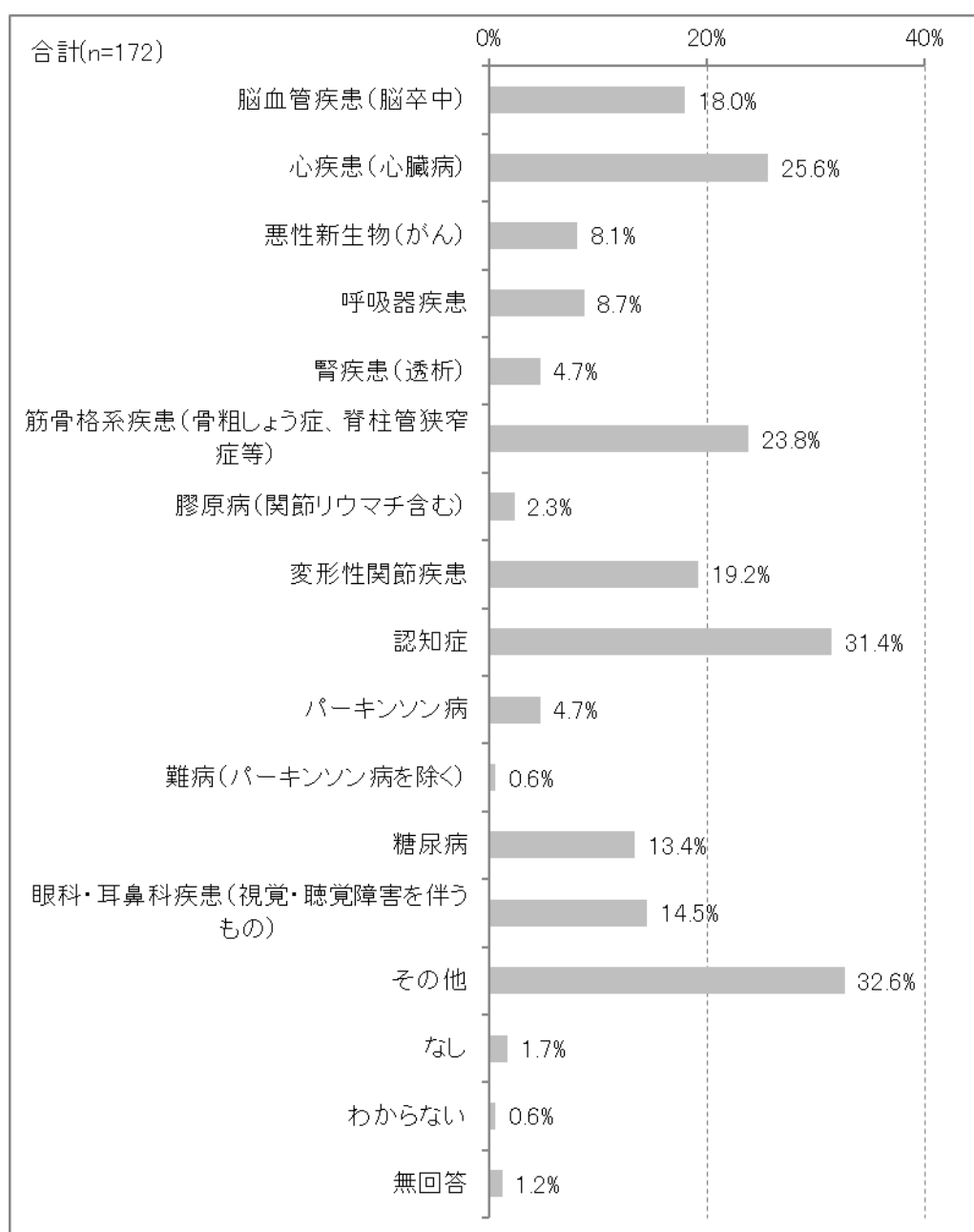
(8) 施設等検討の状況

(単数回答)



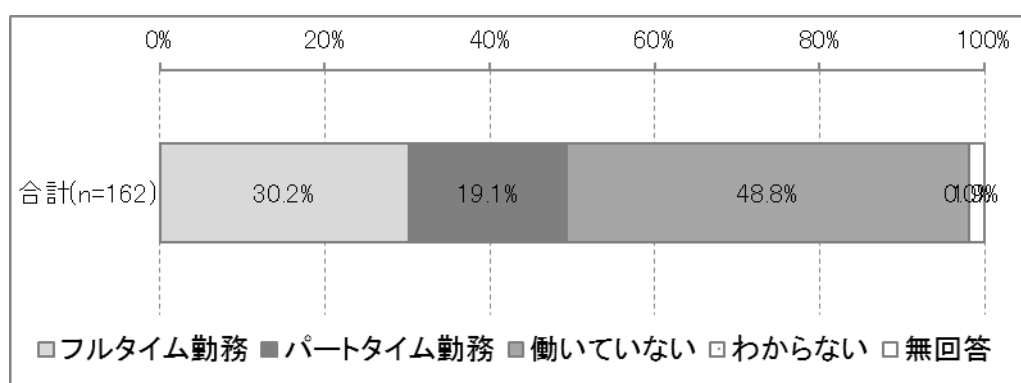
(9) 本人が抱えている傷病

(複数回答)

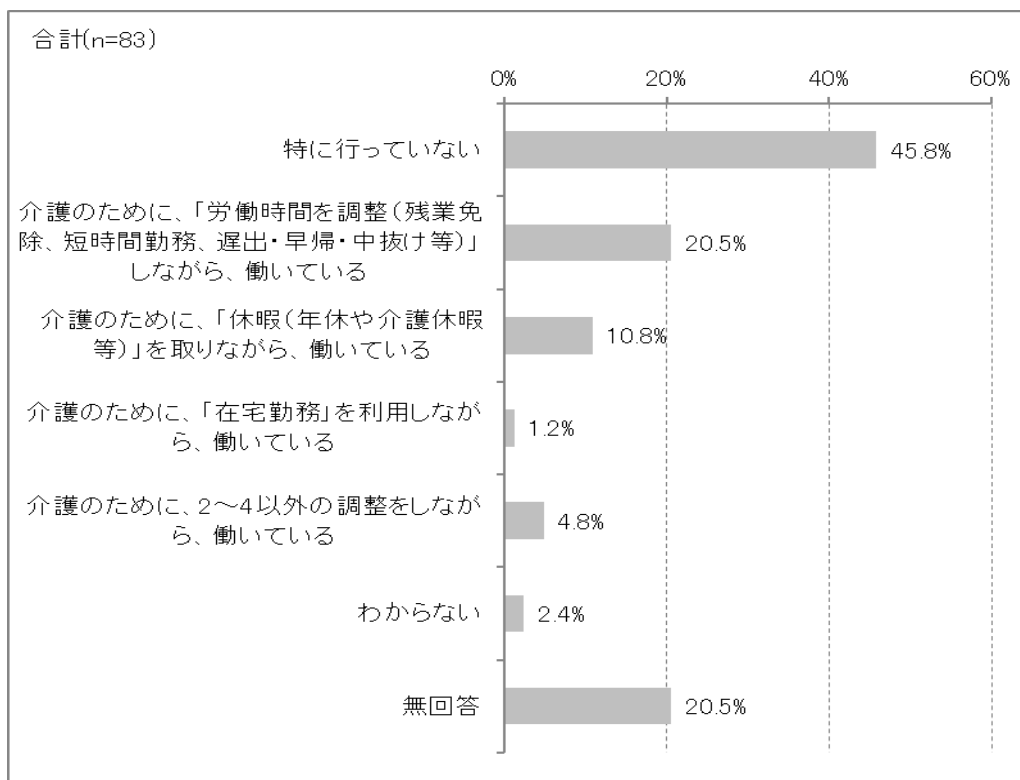


(10) 主な介護者の勤務形態

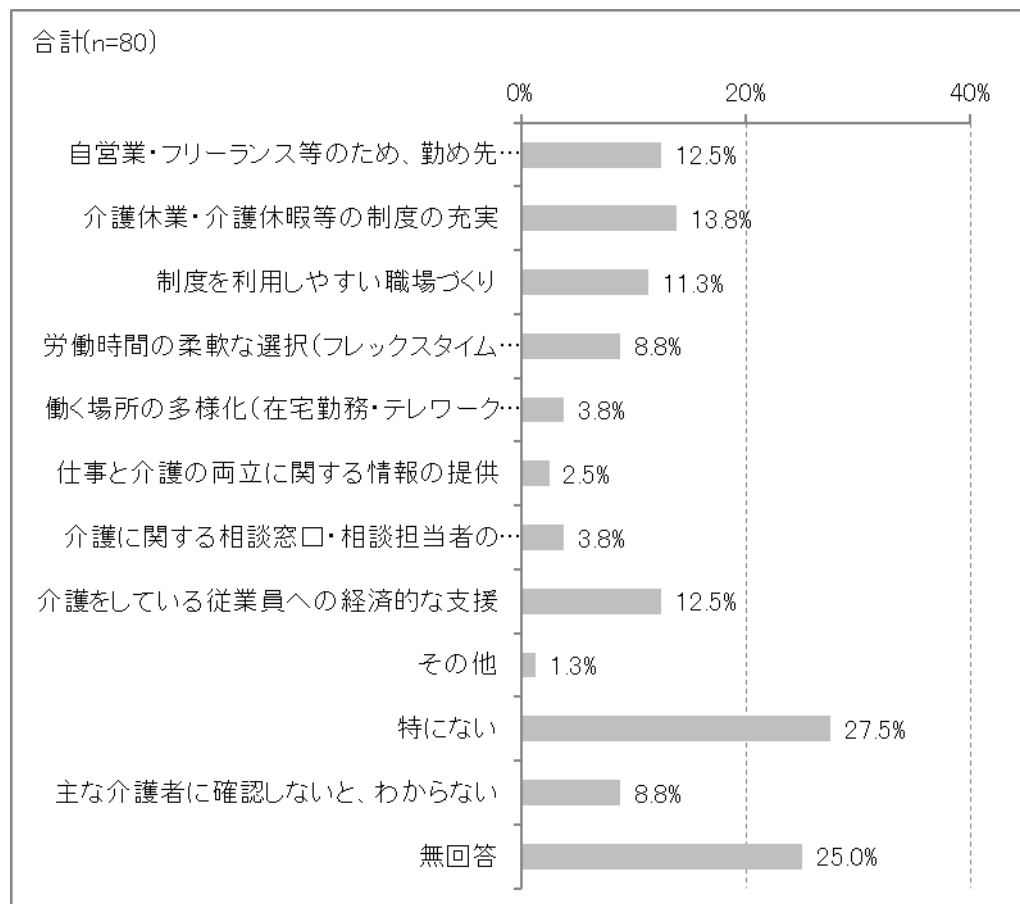
(複数回答)



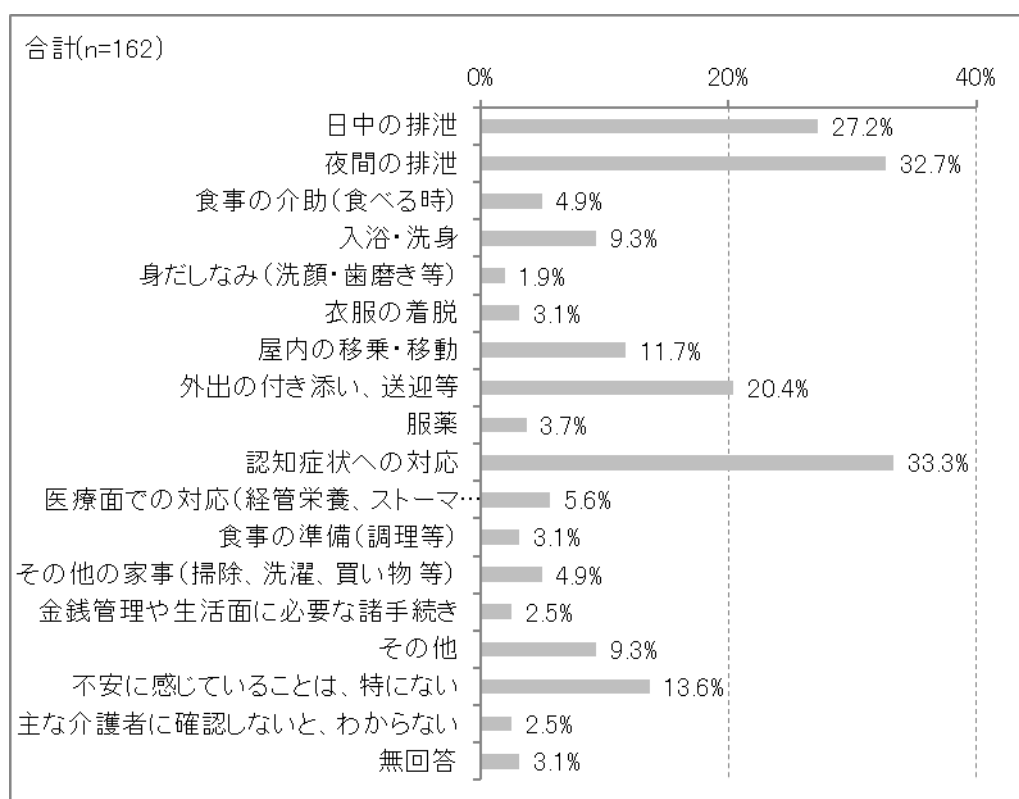
(11) 主な介護者は、介護のために働き方の調整等をしているか (複数回答)



(12) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援(複数回答)



(13) 今後の在宅生活を続けるにあたって、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）



まむろがわ地域包括ケア計画

(高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画)

令和6年3月策定

発行 真室川町

編集 真室川町福祉課

住所 〒999-5312 真室川町大字新町 469番 1

TEL 0233-62-3436

FAX 0233-64-1526

E-mail fukushi@town.mamurogawa.yamagata.jp